

改善箇所説明図



※右側前照灯の方向指示器も同様。

前照灯一体式方向指示器を装着したトラックとバスにおいて、設計検討が不適切なため、方向指示器のバルブソケットと前照灯側コンタクトリングの接点端子の接圧が不足しているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、方向指示器点滅の繰り返しによって端子に酸化被膜が生じ、この酸化被膜が増大すると、バルブソケットとコンタクトリングの端子が焼損・溶損して、方向指示器が不灯になる。

改善措置の内容

全車両、前照灯の製造番号を確認して不具合品が装着されていると判断されたものは方向指示器のバルブソケット端子を点検し、焼損・溶損が認められた場合は前照灯一式を対策品に交換する。
なお、焼損・溶損が認められない場合はバルブソケットを対策品に交換する。

注： はバルブソケット端子に焼損・溶損が認められた場合に、 は認められなかった場合に、対策品と交換する部品を示す。

識別： 作業完了車には、青色ペイントを塗布する。

小型トラック	： ステアリングコラムカバーの取付スクリュー頭
小型バス	： アクセルペダルブラケット横側
大型バス	： 車両左後方点検リッド裏